

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成27年5月7日 (2015.5.7)

【公表番号】特表2014-513710(P2014-513710A)

【公表日】平成26年6月5日 (2014.6.5)

【年通号数】公開・登録公報2014-029

【出願番号】特願2014-510806(P2014-510806)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/192 (2006.01)

A 6 1 K 9/08 (2006.01)

A 6 1 K 47/34 (2006.01)

A 6 1 K 47/10 (2006.01)

A 6 1 K 47/14 (2006.01)

A 6 1 K 47/12 (2006.01)

A 6 1 K 47/02 (2006.01)

A 6 1 K 9/66 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/04 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 K 31/192

A 6 1 K 9/08

A 6 1 K 47/34

A 6 1 K 47/10

A 6 1 K 47/14

A 6 1 K 47/12

A 6 1 K 47/02

A 6 1 K 9/66

A 6 1 P 29/00

A 6 1 P 25/04

【手続補正書】

【提出日】平成27年3月16日 (2015.3.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

1 から 15 % (w / w) のケトプロフェンナトリウム塩 ;
80 から 95 % (w / w) の 1 種類以上の液状の親水性担体
を含み ;
p H 値が 7 . 5 から 10 である、
経口投与のための医薬組成物。

【請求項 2】

p H 値が 9 . 5 である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 3】

液状の親水性担体の総量が 85 から 95 % (w / w) の範囲である、請求項 1 に記載の
医薬組成物。

【請求項 4】

液状の親水性担体媒体が、ポリエチレングリコール、グリセリン、プロピレングリコール、PEG 40 水添ヒマシ油、ポリソルベート、ヤシ脂肪酸グリセリル、PEG 6 カプリル / カプリルグリセリド、ポロキサマー、ラブラフィル、カプリロカプロイルマクロゴール - 8 グリセリド、ポリエトキシシル化ヒマシ油、グリセロール - ポリエチレングリコールオキシステアレートまたは PEG - 40 水添ヒマシ油、エトキシシル化脂肪族アルコールおよびソルビタンエステルからなる群より選択される、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 5】

液状の親水性担体媒体がポリエチレングリコール 600 である、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 6】

必要に応じて pH をクエン酸で調整する、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 7】

必要に応じて pH を水酸化カリウムで調整する、請求項 1 に記載の医薬組成物。

【請求項 8】

ケトプロフェンナトリウム塩と液状の親水性担体との重量比が 1 : 1.2 から 1 : 1.5 である、請求項 1 から 7 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 9】

軟質カプセル剤の形態の請求項 1 から 8 のいずれか一項に記載の医薬組成物。

【請求項 10】

以下の連続工程：ケトプロフェンナトリウム塩を液状の親水性担体に、均一な混合物を得るために攪拌しながら溶解させる工程；次いで、必要に応じて充分な量の塩基性化剤を用いて pH を調整する工程を含む、請求項 1 から 9 のいずれか一項に記載の医薬調製物の調製方法。

【請求項 11】

炎症性疼痛の処置のための薬物の調製のための請求項 1 から 10 のいずれか一項に記載の組成物の使用。